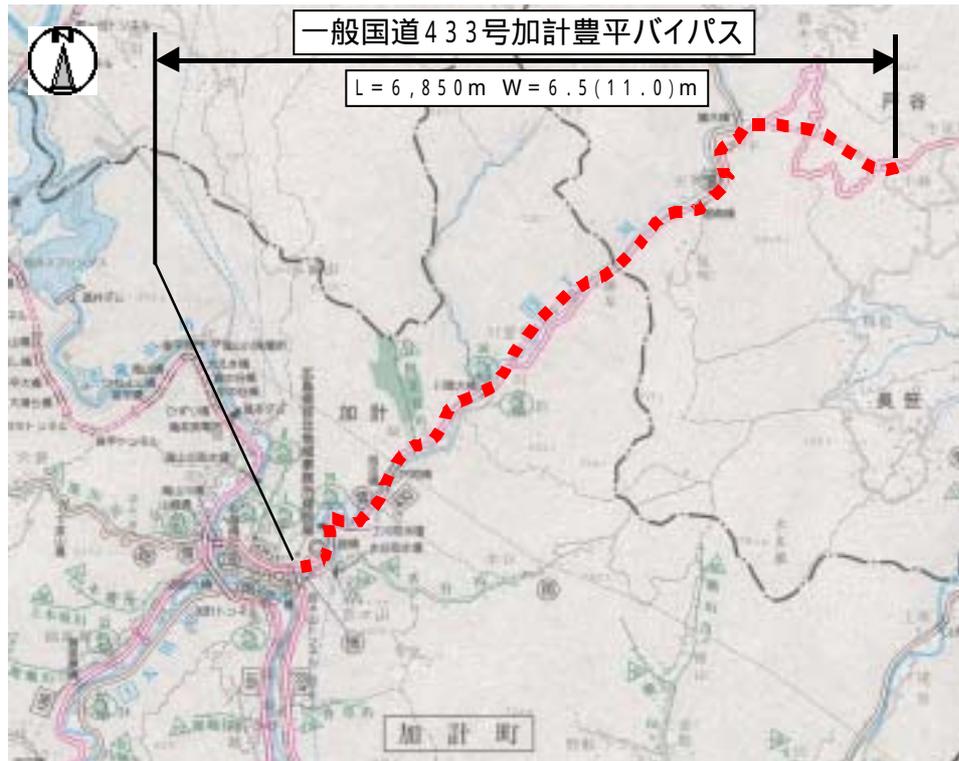
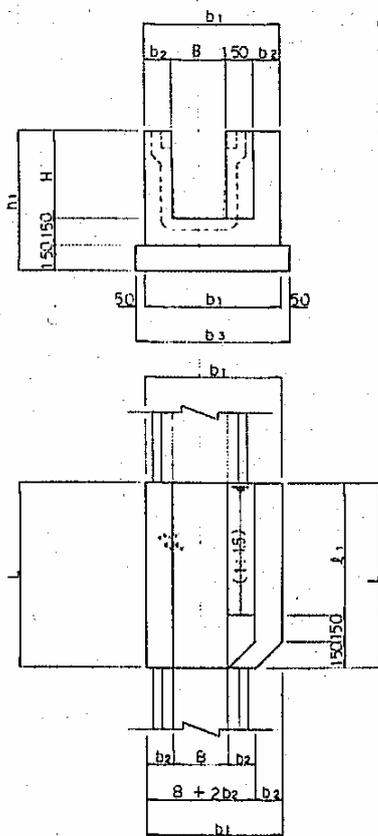


事例 NO. 7		
事業の種類	道路・街路	
環境配慮の概要	小動物に優しい道路整備	
事業名	一般国道433号 加計豊平バイパス	
事業主体	広島県（担当機関：芸北地域事務所建設局）	
実施場所	広島県山県郡加計町丁川～広島県山県郡豊平町戸谷	
実施期間	昭和61年度～平成17年度	
事業概要	全体事業費	-
	施工区間等	広島県山県郡加計町丁川～広島県山県郡加計町勝草
	事業の目的・経緯等	当バイパスは、中国山地の急峻な地形状況に位置し、現道においてもタヌキやイタチ等の小動物の横断が多く目撃されている。このため、バイパス計画策定においてもこうした小動物に配慮し、小動物の脱出が可能な側溝を設置する計画とした。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 配慮の対象とした環境要素 小動物</p> <p>(2) 環境配慮の内容 ほぼ20m間隔で設置される側溝柵部に、小動物の脱出が可能なスロープを設置した。</p>	
施工後の状況	・現在施工中（平成17年度供用開始予定）	
留意点等	・供用開始後、実態調査を行い、効果の確認を行う必要がある。	

(図面, 写真, 説明)



広島県芸北地域事務所建設局管内図に基づき作成された位置図である。
【位置図】



【小動物脱出側溝構造図】



【施工済み写真】

出典